

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜崩壊対策事業		路河川名等	つつじが丘			
事業毎の通番		7	市町村名	宮田村	箇所名(ふりがな)	つつじが丘(つつじがおか)		
事業概要	事業目的	本箇所は天竜川によって作られた段丘崖に位置し、最大高さ29m、最大勾配35度の急傾斜地となっている。保全区域内には人家9戸と指定緊急避難場所に指定されている「つつじが丘地区高齢者支え合い拠点」があり、そのうち人家4戸は特別警戒区域内に存する。今後の豪雨や地震により斜面が崩壊し、被害が生じる恐れがあるため、早急に対策を講じる必要がある。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	急傾斜地法			
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家9戸、つつじが丘地区高齢者支え合い拠点(避難所)、防災倉庫、村道190m、その他道路180m						
	着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	2.3	国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	法面工 L=200m A=6,000㎡			300,000	135,000	30,000	121,500	13,500
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	土砂災害特別警戒区域指定の解除 人家、公共施設の保全						
	間接的効果(定量的・定性的)							
評価の視点	必要性	保全対象人家:9戸 保全対象公共施設:1箇所 要配慮者利用施設:なし 避難所:あり					評価	
							B	
	重要性	災害履歴:なし 交通遮断による地域経済への影響:なし 地域防災計画への位置づけ:あり					評価	
							B	
	効率性	○費用対効果(B/C): 2.27 ○事業期間: 5年間(H30~H34) 工法等の比較検討:なし					評価	
							B	
緊急性	斜面平均高さ:25m 斜面平均勾配:31° 地質:段丘堆積物 崖の上下に保全対象あり					評価		
						B		
計画熟度	事業情報の共有: 今後周知予定 地域の取り組み: 要望あり 地域の合意形成: 今後形成予定 住民との協働: 自主防災組織あり					評価		
						B		
部局意見	がけ下の人家4戸が特別警戒区域に含まれる。また、地域防災計画に記載された避難所が、がけ上の警戒区域に含まれる。近隣に避難所の移転適地がなく、施設整備の緊急性が高い。				採択状況	総合評価		
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。				○	B		

事業概要説明図表

計画平面図  
全体計画 L=200m  
1 つつじが丘地区 高齢者支え合い拠点施設

標準横断面図  
H=29m  
35°  
人家 避難所

② つつじが丘地区高齢者支え合い拠点

④ 斜面状況

① 全景

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本箇所は最大高さ29m、最大勾配35度の急傾斜地となっており、保全区域内には人家9戸があり、そのうち4戸は特別警戒区域内となっている。また、「つつじが丘地区高齢者支え合い拠点」があり、宮田村地域防災計画において指定緊急避難場所に指定されているものの、土砂災害に対しては不適とされている。今後の豪雨や地震により斜面が崩壊し、被害が生じる恐れがあるため、早急に対策を講じる必要がある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元地区から要望あり。
③事業説明等の経緯	今後、地元説明会等を通じて合意形成を図る。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に検討予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 35° 46' 04"  
東経:E 137° 53' 01"